

## H28.8月から9月にかけての大雨災害に関する検証

機関名：第一管区海上保安本部

## 1 今回取った主な活動状況（自由記載）

1. 北海道庁及び上川・十勝総合振興局、芽室町役場ヘリエソンを派遣  
（関係機関との情報共有及び調整等を実施）
2. 帯広空港へ航空機支援要員を派遣  
（行方不明者捜索に係る航空機運航支援及び孤立者救助支援等を実施）
3. 航空機（固定翼）による北海道沿岸部の被害状況調査及び木材等の漂流物調査を実施
4. 航空機（回転翼）による大樹町ヌビナイ川及び新得町パンケ新得川等での行方不明者捜索を実施
5. 航空機（回転翼）による芽室町美生ダム孤立者2名の救助活動を実施
6. 羅臼町土砂崩れによる孤立地域からの旅行者救助活動を実施
7. 巡視艇による羅臼町孤立地区で発生した急患搬送を実施

## 2 個別事項（行が不足する場合は、適宜、行を追加願います。）

項目	発生時点	事実関係	課題	対処方法の方向性
救出救助	8月31日 0530	北海道災害対策本部設置に併せヘリエソンを派遣。 以後、航空機（回転翼）による行方不明者捜索及び孤立者救助を実施	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害対応（捜索・救助）に従事する航空機のスポット確保</li> <li>2. 他機関航空機の捜索予定及びドローン飛行予定の情報不足</li> <li>3. 翌日の捜索方針決定の遅れ（地元の対策会議が2000以降に開かれる等の理由）</li> <li>4. 現場における他救助機関との連絡手段（無線交信手段）</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 空港管理者から災害対応機のスポット優先確保を空港事務所へ事前連絡（調整）</li> <li>2. 北海道災害対策本部が情報を集約し関係機関へ共有。</li> <li>3. 北海道災害対策本部における積極的な対応方針の策定</li> <li>4. 防災無線の活用</li> </ol>